



海の小さな生物を観察しよう！

海のプランクトンをじっくり観察

海の生物観察と言ったら魚やヒトデなど目に見えるサイズばかり注目されますが、実は小さな生物も数多く棲んでいます。様々な形の微生物に出会い、海の豊かさを感じることができます。

対象 小学生～大人
場所 海辺全般（屋内）
時間 1時間

2. 準備の前に...

1. 用意するもの

- | | |
|-------------|------------------|
| ①プランクトンネット | ⑤画用紙
A4程度の大きさ |
| ②顕微鏡セット | ⑥筆記用具 |
| ③スポイト | ⑦プランクトン図鑑 |
| ④透明なボトルやケース | |



2. 事前の準備

プランクトンを捕まえよう

- ・海中でプランクトンネットを引いて採集を行います。
- ・何度か水中で引いて、中身を透明なボトルへ移しましょう。ボトルにうごめくものが確認できたら採集成功です。
- ・時間に余裕のある場合は参加者と実施してもいいかもしれません。その場合は安全に配慮して行いましょう。

※実施の直前に採集すると、より活発な微生物が観察できます。

プランクトンネットがない時は

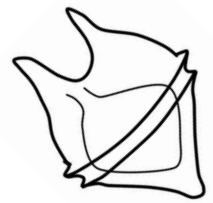
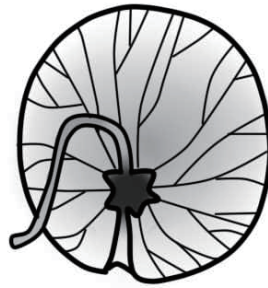
- ・プランクトンネットがない場合は、代用品でまかなうことができます。
- ・100円ショップなどで洗濯機用の糸くず取りネット（目の細かいもの）を買って先端にフィルムケースを付けると代用品の完成です。



2.プログラムの本番！

1. 顕微鏡の使い方を確認(約10分)

集合したら、顕微鏡の使い方について確認しましょう。
使い方のわからない参加者にはスタッフが使用方法を指導しましょう。



2. 小さな生物を観察(約40分)

採集したプランクトンを参加者に配りましょう。
この時どの場所でどう採集したかを伝えるとイメージがしやすくなります。

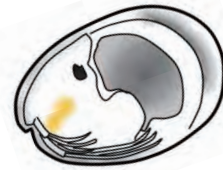
配布が終わったら、参加者はスポイトを使って
プランクトンをシャーレに移して観察しましょう。

観察しながら、プランクトンの姿を画用紙にスケッチしていきます。
観察中は絵だけでなく以下の事もメモしておきましょう。

- ・色
- ・動き（速さ、体のどこを動かしているか）

その他に気付いたことや、生物のキャッチフレーズ・名前を考えて
おくと次の発表が行いやすくなります。

1種類につき1枚書き、時間の許す限り続けます。



3. 発表しよう(約10分)

観察が終わったら、それぞれスケッチを見せながら発表しましょう。参加者同士で似た生物を見つけたり、比較を行うと盛り上がります。最後に観察した微生物が他の海の生物のエサとなることで、海の豊かさを支えていることを紹介しましょう。



ココがポイント

プランクトンと採集時間

捕まるプランクトンの種類は時間帯によっても異なります。夜でもライトで海面を照らしながら集めると多くの種類を捕まえることができます。
※干潮時には捕まえにくいので注意しましょう。

どんな生物が見られる？

集めた海水を顕微鏡でのぞいてみると、様々な色や姿形の生物が動き回っています。時には生まれたばかりの稚魚や、親とは似ても似つかない姿をした幼生なども見つかります。



ウミの幼生



ゴカイの幼生



カイアシの仲間